

企業様向けオンライン講座①

分析実務におけるAI活用の基本に触れる講座

生成AIの基本原則とデータ分析における活用に触れる

参加費無料

2026年度の企業様向けオンライン講座 一覧

【講座①】 分析実務におけるAI活用の基本に触れる講座

生成AIの用語・使い方のインプットから、集計や分析タスクでAIを併用するコツを演習。自分でやる箇所／AIに任せる箇所・任せ方を掴む。

【講座②】 エクセルからPythonへのステップアップ講座

Python活用を分析に関わる部分に絞って敷居を下げ、コーディングのひな型を習得。生成AIへの質問でエラー回避・修正、発展的な分析が容易になることを体験していただきます。

【講座③】 Python + AIを活用した分析の進め方を身に付ける講座

統計・多変量解析・機械学習の基礎を押さえ、「生成AIと正しく対話し、出力を判断できる力」を養う。コードを自分で書かずに便利さを享受する進め方も経験します。

【講座④】 生成AIの基礎と実務での活用を学ぶ講座

分析にかかわらず、生成AIの最新事例や基礎知識に触れる講座。教科書的な基礎知識も紹介しつつ、AIの上手な使い方や、実ビジネスの最前線でのリアルな活用事例を交えて紹介します。

この講座の狙い

生成AIサービスの発展により、データ分析の実務も大幅に効率化し、分析に取り組む敷居も下がりました。この講座では生成AIの基本的な仕組みの理解から始まり、実際のデータ集計・分析におけるAI活用のありかたを学びます。

今年度開催の他講義(②エクセルからPythonへのステップアップ講座、③Python + AIを活用した分析の進め方を身に付ける講座)に向けた下準備としても最適です。

こんな方にお勧め

- 日常的には生成AIに触れておらず、どんなものなのか知りたい方
- 生成AIを利用はしているものの、データ分析実務ではあまり活用した経験がない方
- AIを活用して高度なデータ分析を行いたいと考えており、そのための準備としてデータ分析やAIの使い方についてのエッセンスを学びたい方

想定カリキュラム ※ 講義の順序や内容が多少変更となる可能性があります。

対面の講義回についてはオンラインでの受講も可能です。

#	各講義の想定テーマ	実施日	時間	講義形式
1	生成AIの基礎の基礎：生成AIの原理と利用の勘所	10月5日(月)	16:30-18:00	WEB
2	AIと対話する：プロンプトと対話の流れ・進め方	10月13日(火)	16:30-18:00	WEB
3	AIを活用してデータ分析する	10月19日(月)	16:30-18:00	WEB
4	質問受付会/AI時代におけるデータ分析者の心構え	10月30日(金)	16:30-18:00	対面

※AIを実際に利用するため、PCと各種サービス(AIサービスやGoogle Colab等)のアカウント登録のためのメールアドレスをご準備ください。

お申込みにあたって

申込方法

以下URLもしくは右側の二次元コードからお申込みください。
※お申し込みの際、簡単なアンケートにお答えください。
<https://forms.cloud.microsoft/r/DTJG9hLpiC?origin=lprLink>

実施時期

2026年10月（講義全4回）

定員

40名(先着順) ※申込期限 2026年9月27日(日)

講座形式

ZOOMミーティング（第4回は対面講義）

1. やむを得ず参加できなかった講座については、受講者に限り後日録画内容を閲覧できます。
(講義後1週間限定、ダウンロード不可)

2. オンライン上での議論を促進するために、miro(ホワイトボードツール)を利用します。
(主催者側でアカウントを払い出すため、個人での登録等は不要です)

3. ChatGPTなどのAIサービス(無料版)を利用します。アカウント登録できるアドレスをご準備ください。

4. 講座や課題の際Google Colaboratoryを利用する場合があります。
あらかじめ、個人のGoogleアカウントをご準備ください。

応募条件

生成AI利用やデータ分析に関する知識や経験は問いません。どなたでもご参加いただけます。
生成AIを利用したことがない方、利用はしているものの、データ分析実務の文脈ではあまり利用したことがない方には特にお勧めです。講座②③等の受講に向けた下準備としてのカリキュラムの位置づけです。



お問い合わせ先

一般社団法人AI・データイノベーション教育研究推進機構
〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
東千田未来創生センター4Fプロジェクトルーム4-6
E-mail: aidi-event@ml.hiroshima-u.ac.jp